

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	神川町			
提案事業名	魅力ある水辺空間づくり事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	本町では神川町総合計画において、町民が川を身近に親しめる取り組みを進め、水辺空間の整備やイベントの開催、そして町民と協働して神川町の特性を生かした美しい自然景観づくりに努めてまいりました。			
成果指標	(成果を検証する指標) 道のオアシス神泉利用者数			
	(成果検証の具体的な方法) 道のオアシス神泉年間利用者(レジ通過者)			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業上流部に位置する道のオアシス神泉は秩父瀬神流パークの拠点となる施設であることから道のオアシスにおける年間利用者を計測し、現状と比較することとした。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (R2年 3現在)	12,000人(見込)	目標値 (R5年3月時点)	14,000人 完成後のR5年度で17%増
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	広報紙及び町、観光協会ホームページに掲載。 SNS(LINE)による発信。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 水辺公園周辺整備事業	ハード 町内における水辺拠点の中心でもある水辺公園の再整備を行い、町の活性化、町民の川への愛着向上及び町外からの集客をもって賑わいの創出を図る。	49,500
②	ハード ソフト 間接補	
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		49,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	本事業を真に有効なものとするためには、整備後の利活用が重要となる。このため、神流川はつつプロジェクト推進協議会において整備後の具体的な利活用の検討も行う。
成果指標の達成見込み	本事業により、点在している観光施設を結ぶことで人の流れをつくり、川に親しめる空間づくりや水辺を活用した事業を展開していくことで目標達成に向けたにぎわいの創出を図る。